

ID	あなたは？	講演（島田潤一郎氏）をお聞きになったの感想や意見などをお書きください。	学生座談会や全体の意見交換をお聞きになったの感想や意見などをお書きください。	本日の研究会の運営について、お気づきのこと、改善点などありましたらお書きください。	次回のような企画、お話し、講師などがあれば良いか、お書きください。具体的でも結構です。
1	大学生協役職員	「一人であることの強み」という言葉と「人とつながるのが仕事」という言葉が離れているようで、とてもしっくりきました。『わかる人にはわかる』というところでしょうか。共感するところが多く励まされました。ありがとうございました。	とくにありません。	とてもいい運営でした。ありがとうございました。	
8	大学生協役職員	（自身の学びメモより） ・仕事とは「社会の中で必要とされる（居）場所をつくり、健全なカネを回す役割を担うこと」。 ・「プロダクトアウト」×「マーケットイン」 プロダクトアウトとは？マーケットインとの違いやメリット・デメリットを解説 - やさしいビジネススクール (yasabi.co.jp) 「ひとりでやっているけれど、ひとりではない」夏葉社・島田潤一郎さんに聞く - J-WAVE 81.3 FM JK RADIO TOKYO UNITED ・「良い編集者である前に、良い読者でなければならない。一番あいせつな仕事は本を読むこと」 ・「あらゆるものは、ときのふるいにかかけられる」（松本たかし） （決断するより、待つこと、保留することの方が難しい（最大の味方は本）） あらゆる手段を目的化しない、「じぶんたち（自分＋自分にとって大切な人）ごと」で発想・思考・考動して、「じぶん」の仕事を探し、「じぶん」の人生を生きることを学びました。	「学生証のある学生」は、彼ら彼女らが所属する大学では「自大学生」。学長室にも、堂々とする立場です。この学生たちをど真ん中に。こうした企画をつくっていくことはとても貴重だと思います。既卒の常勤学生がその「つなぎ（ジョイント）」の役割を果たせれば素晴らしいです。今回の企画は、そんなヒントが満載でした。	講演者（島田さん）とゲスト（岡本学長）をつなぐ米山先生（委員長）。その集団と現役学生をつなぐ常勤学生。という構図は、今後の企画運営に大きな示唆を与えているような気がします。組織体質をタテワリ（既組合員・未組合員・取り巻くステークホルダー）からヨコグシ、さらには、重なり合うノリシロの面積を大きくする発想にもつながると確信できた企画でした。	2024新入生を温かく迎えるために！をメインテーマに、受験生・新入生と「現場」で接しておられる方をスピーカーにお招きして、学生中心で企画を組み立てることが理想的だと思っています。
9	大学生協役職員	熱い思いを持ち続けて活動できていることが、素敵だと思います。紆余曲折があったかもしれませんが、基本貫いていらっしやった。	事務局の学生が、積極的に質問してくれていたのが良かったです。	スタート直後、参加者には音声が届いているのに、事務局内での設定であたふたしていたのはいただけませんでした。準備をよろしくお願いします。	
2	大学職員				
4	大学職員	島田さんのような選択肢があるということを学生が知る機会になり非常に良いと感じました。私自身にとっても大変勉強になりました。	島田さんのお話がどれも印象に残っています。多くの方に聞かせてあげたいキーワードが沢山あったと感じました。		島田さんのような型にはまらない方でしたら面白いと思います。
13	大学職員	どんな仕事をするかではなく、誰と仕事をするか、という言葉と、自分が仕事の中で関わっている人たちに恥じないものを提供したいという島田様のお人柄やお仕事への姿勢が非常に印象的でした。			
3	大学教員	示唆に富む内容で非常に良かった。もっと多くの参加があればさらに良いと思う。	本音に近い部分が聞けて参考になった。	もっと宣伝の範囲を広げるべき。また、録画も、可能な範囲で、多くの方々に見てもらえるようにしていただきたい。	
12	大学教員	ご自身のバックグラウンドを開示していただいたことで、説得力と深みを感じることができました臨場感あふれる内容で、学生諸君にはとても参考になったと感じました。			
7	学部4年生以上（既卒含む）	誰かを思って想いを伝えることでお仕事になるという顔がわかる信頼関係の中で仕事ができると自分だからこそできるお仕事ができるようになると思い、仕事が生き甲斐にもなってくるのは素晴らしいことだと思いました。	自分の大事にしたい考えがぶれないように周りの人が見守って、時に修正してくれるような関係性は大事にしたいと思いました。		
5	学部3年生	私は、就職活動をしていくなかで、自分のやりたいこと得意なことを中心に考えていました。しかし、講演を聞いて自分がこれだけはやりきれること自分の身近な人が喜びそうなこと、面接したときにこの人と働く楽しそうなど、様々な視点から考えていくこともできることを学びました。仕事は人と人との間にあるものだと私も思うので、人を見ることも大事だと思い、個人的に参考にさせて頂きたいと思いました。	今回の自分にとって仕事とはというテーマは学生にとってすごく考えさせられたなと思い、もっと多くの学生に参加して欲しいと感じた。		
6	その他	人生は1回で、ひとつの生き方しか経験できないのは寂しく、いろんな体験や経験をしたり、様々なことを知ってみたいと思ったりしつつ、とはいえ1回だけで、限られた時間だからこそ、大切にやりきらなければいけない、何回も体験できると逆に密度が薄くなってしまふとも思います。自分なりの結論としては、1回限りの限られた時間だからこそ、できること、やりたいこと、できそうなこと、嫌だけれどやるべきこと、やった方がいいこと等、いろいろ挑んでみたいです。	言葉を紡ぎ、言葉で伝えることの大切さと難しさを再認識しました。そのための手段の一つが、本を読むことのような気がしました。本を読むことは手段であって、その目的は何なのかといった視点も大事に思いました。とはいえ、読んだときには分らなくても、将来読んだことの影響が感じられることもあるといったことを再認識しました。そうすると、目的を明確にしくなくても、本を読むことは大切、役に立つという見方もありますね。	いろいろな方と、いろいろな話をしたいですね。それが、聞いてもらえる大学生のみなさまの、これから先の長い人生のうちのどこかで、少しでも役に立つといいなと思いました。	グリーフケア等、心のケアに関するお話を聞いてみたいです。こちらも、今すぐ大学生のみなさまにピンとくる話とも限らないかもしれませんが、いつか必ず役に立つことになるお話かと思っています。
10	その他	どうしても企業への就職活動に傾斜しがちな学生さんにとって、新たな生き方を示すことになったのではないですか			ウクライナ、パレスチナなど大きな国際問題が続いています。間接的にでも、どのように考えればいいのか、関わればいいのか、関心がある学生もそれなりにいると思います。学生たちの関わり方のヒントになるような話を紹介してもらえればよいと思います。講師は、メディアに露出している多くの方で都合の良い方をお願いすればいいと思います。
11	その他	大変面白い話でした。こどもの頃にかけられた声が、自分の一押しになっているという経験など、自分としても感じることもあり、そうした経験を振り返ってみる機会にもなりました。	興味深かったです。これからも続けていただきたいです。		